

## アンケートより(一部紹介)

### 【学年部会】

- 資料から離れた後、身近なこととして、どんなふうにとらえスズメていくとよいのか、自分自身も悩んでいる所です。  
今後いろいろと教えていただけると助かります。
- 教室の中に、学びの振り返りができる掲示があって、道德のつながりがつくりやすく、子どもにとっても価値を普段の生活に(自分事)に絡めやすいだろうなと思いました。
- 全学級で指導の型が統一されていて、発問も読奥考えられていて、研修部の方向性がはっきりしていて、大変勉強になりました。
- 学習の進め方だけでなく、板書も参考になりました。子どもから出た声、道德的価値をしっかりと拾ってあげ、進む方向がわかりやすかったです。
- 授業中、各時間が少なく、話す時間が多かったことにびっくりしました。話すことがとても大事なことだと思います。
- テーマを提示される前から、いきいきと自分のことを話そうとする子ども達の姿を見ることができました。積み重ねと学級づくりの成果なのだろうと思いました。

### 【特別支援】

- こもれび学級では、これまでの積み重ねで子ども達が考えたり、とても素敵な意見を発表している姿が見られ、先生方の日頃からの丁寧な指導がされているのだと感じました。
- 「のぞみんバザール」も年々児童の実態に合わせて進化し、道德やキャリア教育の視点からも展開されていること、勉強になりました。
- のぞみ学級職員にとっても確かな共通理解、目指す方向、チームとして力を合わせることが大変重要になってくることであり、支援学級にとって大切であることを改めて思いました。
- こもれび学級では、子ども達の小集団活動でも、通常学級と同様に学習規律を守りながら学習している様子に感心させられました。
- 言葉の教室では、構音障害と吃音をもつ児童の指導を参観させていただきました。構音障害では、様々な方法での「音の聞き出し」や「舌の安定」「呼気を出す練習」の丁寧な指導をみせていただき、大変勉強になりました。